



会計検査院での6年間 —国民目線で格闘した数々の検査報告—

講師 ■ 小林 麻理 (早稲田大学教授、前会計検査院長)

女性初の検査官、会計検査院長を務めた6年余りの間に、検査官会議で審議した検査報告は3000件余り。それらは、東日本大震災からの復興やオリンピック・パラリンピック競技大会、年金記録問題など国会要請のみならず、国民生活に関わるありとあらゆる問題の指摘でした。

税金や将来負担に負っている政府活動を国民目線でチェックするとはどういうことか、納税者にとっての価値に見合った支出(Value for Money)と会計検査院の任務の重要性について具体的にお話しします。

Profile

小林 麻理 こばやし まり

早稲田大学法学部卒業。同大学院法学研究科、商学研究科修了。博士(商学)。

早稲田大学商学部助手、東京富士大学教授などを経て2003年早稲田大学政治経済学術院教授。財政制度等審議会、官民競争監視委員会委員など、多数の審議会委員を務めて、2013年に女性初の検査官、2018年に女性初の会計検査院長。2019年8月早稲田大学に帰任。著書『政府管理会計』敬文堂、編著『公共経営と公会計改革』三和書籍など多数。

2019年
12/10(火)
13:00~14:30

会場: 関西大学 梅田キャンパス
8階 “KANDAI Me RISEホール”

〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町1番5号
TEL: 06-4256-6410

入場無料・事前申込不要

当日直接、会場へお越し下さい。
皆様 多数のご参加を
お待ちしております。

お問い合わせ

関西大学 研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
TEL: 06-6368-1179 / FAX: 06-6339-7721
E-mail: keiseiken@ml.kandai.jp

